



平成23年度 2級造園施工管理技術検定

〔学科試験〕解答

■種別：学科

問題番号	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10
解答番号	4	3	4	2	4	1	4	2	4	2
問題番号	No. 11	No. 12	No. 13	No. 14	No. 15	No. 16	No. 17	No. 18	No. 19	No. 20
解答番号	3	4	4	3	2	3	1	2	3	2
問題番号	No. 21	No. 22	No. 23	No. 24	No. 25	No. 26	No. 27	No. 28	No. 29	No. 30
解答番号	3	1	2	1	1	1	3	1	3	4
問題番号	No. 31	No. 32	No. 33	No. 34	No. 35	No. 36	No. 37	No. 38	No. 39	No. 40
解答番号	1	3	3	2	4	2	3	2	4	1
問題番号	No. 41	No. 42	No. 43	No. 44	No. 45	No. 46	No. 47	No. 48	No. 49	No. 50
解答番号	4	1	2	4	3	1	2	4	2	1

問題は全て必須問題となります。



技術検定研修協会

仙台市青葉区二日町13-22カルコス仙台ビル306

■TEL.022(346)6251

■FAX.022(266)0868



平成23年度 2級造園施工管理技術検定 〔実地試験〕解答試案

■問題 No. 1 施工経験記述 省 略

■問題 No. 2

(1)

(イ)

- ①土壌硬度 ②透水性 ③土壌pH ④土性

(ロ)

- ①根鉢寸法に余裕をもって掘り、植穴の底はやや高めにし、土を砕いて柔らかくしておく。
②掘り上げられた土は埋戻し用土として使われるので、樹木の生育障害となる瓦礫などを取り除いておく。
③土壌改良剤を使用する場合は、客土あるいは埋戻し土と十分に混ぜて使用する。

(ハ)

- ・効果が長期間持続するよう緩効性あるいは遅効性肥料を施す。
- ・肥料焼けを起こさないよう、根に直接当たらないように注意する。

(ニ)

土壌の乾燥防止、地温の調節、雑草繁茂の防止、霜害防止、土壌改良などを目的として、ワラ、コモ、落ち葉、もみがら、バーク堆肥、ウッドチップなどで植物の根元周辺を被覆する。

(2)

(イ)

掘 取

- ①掘取前の枝の剪除と下枝のしおりをする。
②鉢径の大きさを定める。

運 搬

- ①直根の切直し
②運搬の支障となる枝の枝おろし及び枝しおりをする。

植 栽

- ①枝葉の整枝剪定を行う。
②植穴は根鉢寸法に余裕をもって掘り、植穴の底は土を細かく砕いて柔らかくし、中高く仕上げる。

(ロ)

- ①しゅろ縄 ②釘(くぎ) ③杉皮

(ハ)

- A 三方か四方 B 環状剥皮

(3)

- A イ. 耕耘 B ク. ローラかけ

■問題 No. 3

(1) 服 装

- ①作業中は、腰手拭いや首タオルをしてはならない。
- ②ボタンのとれたもの、又は外れかけた作業服を着用してはならない。
- ③作業は原則として半袖及び半ズボンで行ってはならない。

保護具

- ①あごひもは、ゆるみのないように結ぶ。
- ②帽体破損の有無
- ③環ひもの調節禁止

(2)

- ①監視員、誘導員を適切に配置し、工事範囲への公園利用者の立入りを制止する。
- ②保安柵、注意標示板等を設置し、危険箇所への立ち入り禁止を徹底する。
- ③工事用車両の運行経路を明確にし、公園利用者の流れを阻害しない。
- ④車両誘導員を配置し、道路からの出入りに対し、公園利用者の安全を図る。

——以上から2つ記述する。

(3)

- ①命綱は、原則として幹にかける。
- ②鋸で枝を引くときは、刃を上向きに使用せず必ず下向きに使用する。
- ③枯枝、弱枝には絶対に乗らないこと。

(4)

- ①バックホウのバケットで荷を吊り上げるなど、主たる用途以外に機械を使用してはならない。
- ②運転者は、運転位置から離れるときは、バケットの作業装置を地上に降ろし、エンジンを止めて、確実にブレーキをかけるなどの措置を行う。
- ③周辺の状況で、誘導員が配置されているときは、誘導員が行う誘導に従わなければならない。また、一定の合図を定め、機械の運転者は、その合図に従わなければならない。

——以上から2つ記述する。

(5)

- A 地面からわずかに浮いた状態
- B 吊荷の重心



技術検定研修協会

仙台市青葉区二日町13-22カルコス仙台ビル306

■TEL.022(346)6251

■FAX.022(266)0868